

# バルコス(7790)

クロスメディア事業を核に、店舗事業と海外事業の戦略見直し、ファッション業界のメディア関連子会社設立へ  
TOKYO PRO Market | Eコマース・一般消費財 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG 7790:JP | REUTERS 7790.T

- 2020/12通期は、売上高が前期比42.5%増、営業利益が同43.3%増、経常利益が同42.8%増。販促やECサイトを通じた直販などが貢献した。
- 事業別セグメント利益は、店舗事業が▲1.68億円へ赤字拡大、海外事業が▲146万円へ赤字転落も、クロスメディア事業が前期比59.0%増。
- クロスメディア事業を核として、店舗事業および海外事業の戦略を見直すほか、ファッション業界のメディア構築のための子会社を設立。

## What is the news?

2020/12通期は、売上高が前期比42.5%増の43.96億円、営業利益が同43.3%増の4.45億円へ、経常利益が同42.8%増の4.22億円、当期利益が同35.5%増の2.17億円。コロナ禍の影響でファッション業界の落ち込みが厳しい状況下、地方発の企業が世界で戦えるビジネスモデルとして、生産力・調達力を武器にメディアミックスを活用した販促を積極的に行ったこと、およびECサイト等を通じて価格競争力のある商品を消費者への直販を推進したことが奏功し、過去最高益を更新した。

セグメント別の業績は以下の通り。①クロスメディア事業は、売上高が前期比65.3%増の39.44億円、セグメント利益が同59.0%増の7.53億円。価格競争力のあるバッグ・財布を中心に様々なメディアを活用して最適な広告手段を計画し販売したこと、および既存顧客を中心に新たなCRMを利用した販促活動によってリピートに繋がるストック型ビジネスを開始したことが貢献した。②店舗事業は、売上高が同31.4%減の4.48億円、セグメント利益が前期の▲698万円から▲1.68億円へ赤字幅拡大。③海外事業は、売上高が同92.7%減の329万円、セグメント利益が前期の1,893万円から▲146万円へ赤字転落。店舗事業および海外事業は新型コロナウイルス感染症の長期化が響いた。

## How do we view this?

2021/12通期の会社計画は、売上高が前期比14.8%増の50.47億円、営業利益が同10.4%減の3.99億円、経常利益が同10.8%減の3.76億円、当期利益が同13.6%増の2.47億円。クロスメディア事業を核として、店舗事業は商業施設の集客に頼った店舗から一時撤退して自社で顧客導線が引けてリアルに商品と接触できるショールーム型の店舗を開発することでクロスメディア事業の受け皿として店舗を活用し、海外事業は海外消費者をターゲットにした越境ECプラットフォーム構築に取り組むとしている。

同社は今年1月、ファッション業界の新たな礎となるメディアの構築を目的として資本金1,000万円でファッションニュース通信社を設立。新たなファッション情報メディアの立ち上げやファッションEC支援事業を行うとのことで、同社のクロスメディア事業におけるインフォマーシャル広告との相乗効果が高まるものと期待されよう。

## 業績推移

事業年度	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12F
売上高(百万円)	2,215	3,085	4,396	5,047
経常利益(百万円)	▲48	295	422	376
当期利益(百万円)	▲47	160	217	247
EPS(円)	▲51.87	174.13	191.06	217.13
PER(倍)	-	4.94	4.50	3.96
BPS(円)	▲149.23	59.40	253.99	-
PBR(倍)	-	14.48	3.39	-
配当(円)	-	-	-	-
配当利回り(%)	-	-	-	-

(※)2020/7/31付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を実施したが、2018/12期の期首に当該株式分割が行われたと仮定してEPS、BPSを算定している。  
(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) - (会社計画)  
株価(円) 860 2021/4/7(基準値)

## 会社概要

1991年に代表取締役社長の山本敬氏が鳥取県倉吉市で設立。社名のバルコスには、スペイン語のbarco(船)から、会社が大きく発展するようという願いが込められている。

同社は国内外でバッグ等の皮革商品の小売および卸売業を主な事業とし、主なオリジナルブランドとして「BARCOS(バルコス)」、「Hanaa-fu(ハナアフ)」、「BARCOS J LINE(バルコスジェーライン)」、「Barcos Blue(バルコスブルー)」を擁する。その中でも、「BARCOSブランド 男女兼用長財布」は、2019/12期の売上の約5割を占める人気商品となっている。

2020/10/2にTOKYO PRO Marketに上場した。

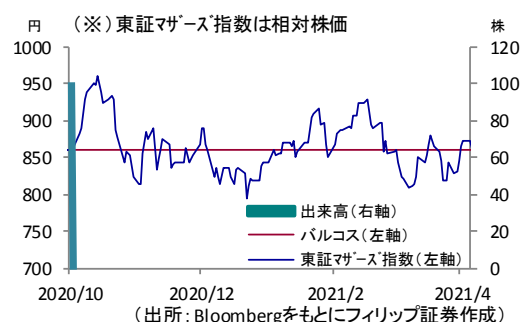
同社の事業セグメントは、「クロスメディア事業」、「店舗事業」、「海外事業」で構成される。

①クロスメディア事業は、比較的長時間にわたって紹介する動画である「インフォマーシャル(インフォメーションとコマースを掛け合わせた造語)」をテレビなどで放映するほか、新聞・雑誌等の各種メディアを活用し、公式オンラインショップや外部のECサイトで商品を販売する。

②店舗事業は、鳥取県内をはじめ東京や大阪等の大都市圏の百貨店や商業施設で幅広く店舗を展開し、2020/7末現在、21店舗を展開。テレビや雑誌の広告出稿と連動して、各ECサイトと店舗を繋ぎ、相乗効果を図っている。

③海外事業は、ミラノやパリ等で開催される海外展示会への出店を積極的に行い、世界各国のバイヤーへ新作をプレゼンし注文を受けるほか、タイでは現地アパレルメーカーと総代理店契約を結び商品の販売を行っている。

## 企業データ



主要株主(2021/3/31) (%)  
1.山本 敬 80.69  
2.株式会社グリーン 19.30  
(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部  
笹木 和弘  
+81 3 3666 6980  
kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘  
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。